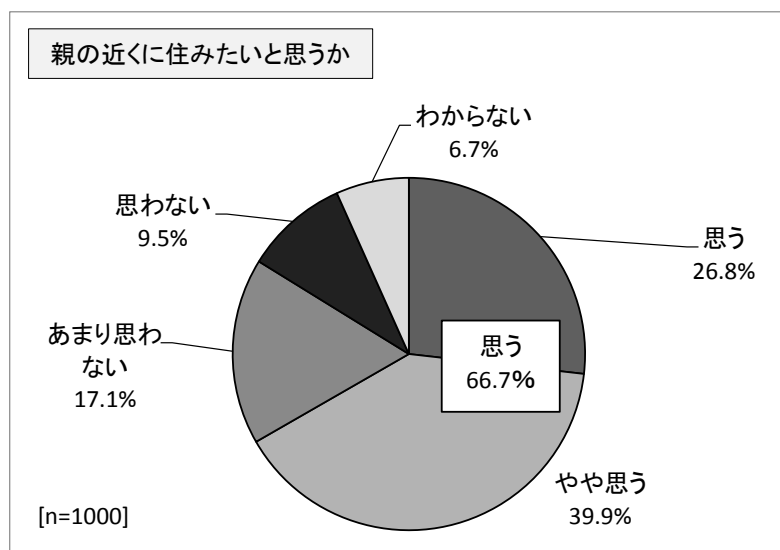


4. 定住について

(1) 親の近くへの居留意向

「将来、親の近くに住みたいと思うか」をたずねたところ、「思う（思う+やや思う）」が66.7%、「思わない（あまり思わない+思わない）」が26.6%となった。

図表 11



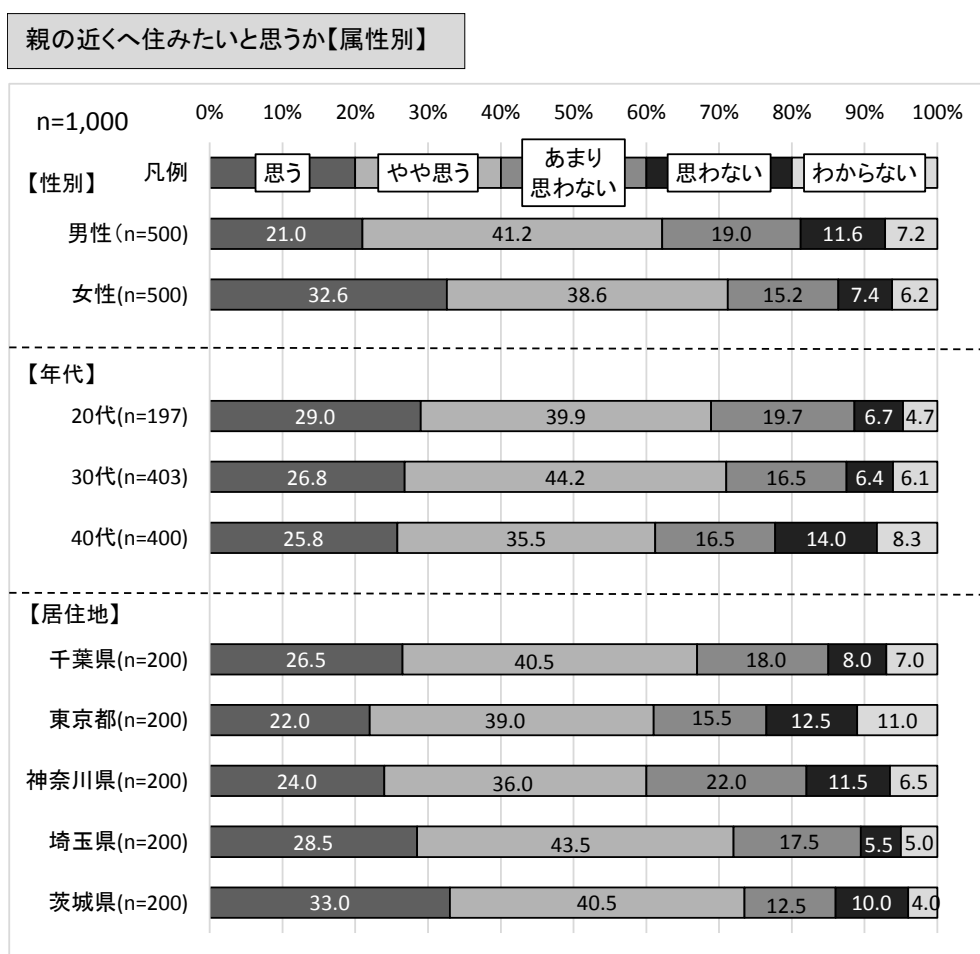
《属性別》

性別でみると、「思う（思う＋やや思う）」の比率は、女性（71.2%）が男性（62.2%）よりも9ポイント高く、なかでも「思う」は女性（32.6%）が男性（21.0%）よりも11.6ポイント高い。

年代別では、「思う（思う＋やや思う）」の比率は、20代（68.9%）と30代（71.0%）では7割前後となったが、40代（61.3%）では6割強にとどまった。

居住地別では、「思う（思う＋やや思う）」の比率は、茨城県（73.5%）、埼玉県（72.0%）、千葉県（67.0%）で7割前後となったが、東京都（61.0%）と神奈川県（60.0%）では約6割にとどまった。

図表 12

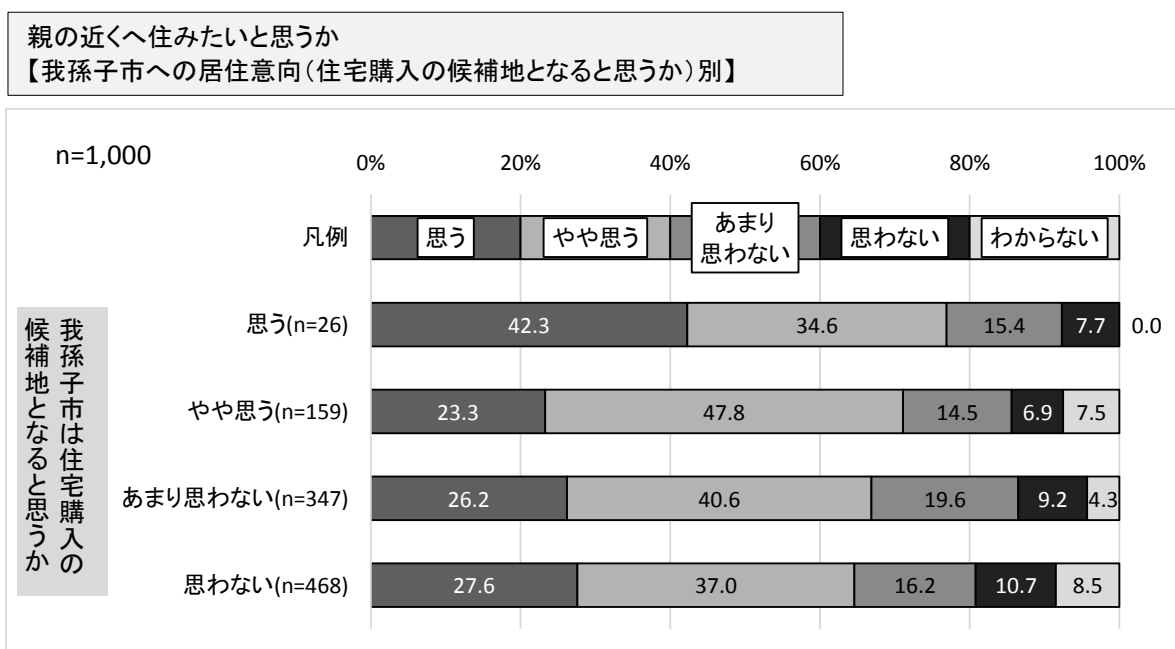


《我孫子市への居留意向別》

我孫子市への居留意向（我孫子市は住宅購入の候補地となると思うか）別にみると、我孫子市は住宅購入の候補地となると「思う（思う+やや思う）」と回答した人は、親の近くへ住みたいと「思う（思う+やや思う）」と回答した比率は高くなっている。

なかでも、我孫子市は住宅購入の候補地となると「思う」と回答した人が、親の近くへ住みたいと「思う」と回答した比率は、42.3%と4割強を占めている。

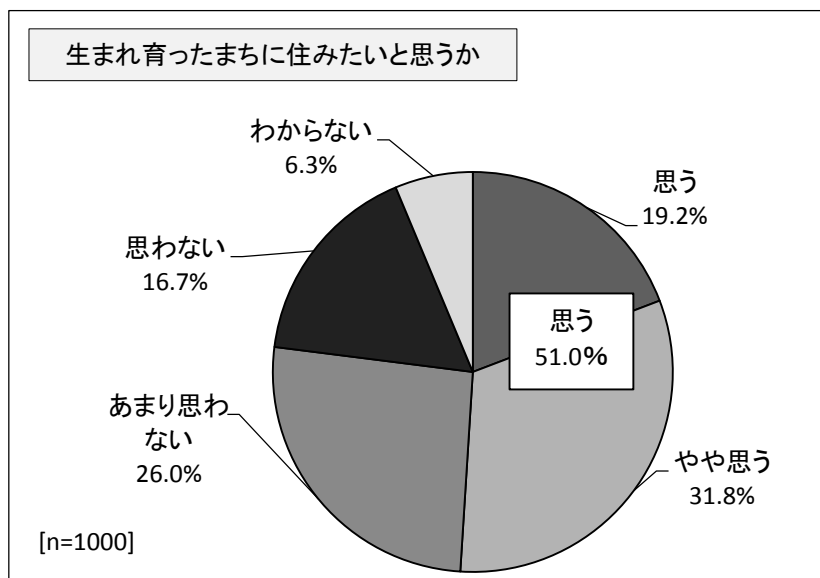
図表 13



(2) 生まれ育ったまちへの居留意向

「生まれ育ったまちに住みたいと思うか」をたずねたところ、「思う（思う＋やや思う）」が51.0%、「思わない（あまり思わない＋思わない）」が42.7%となった。

図表 14



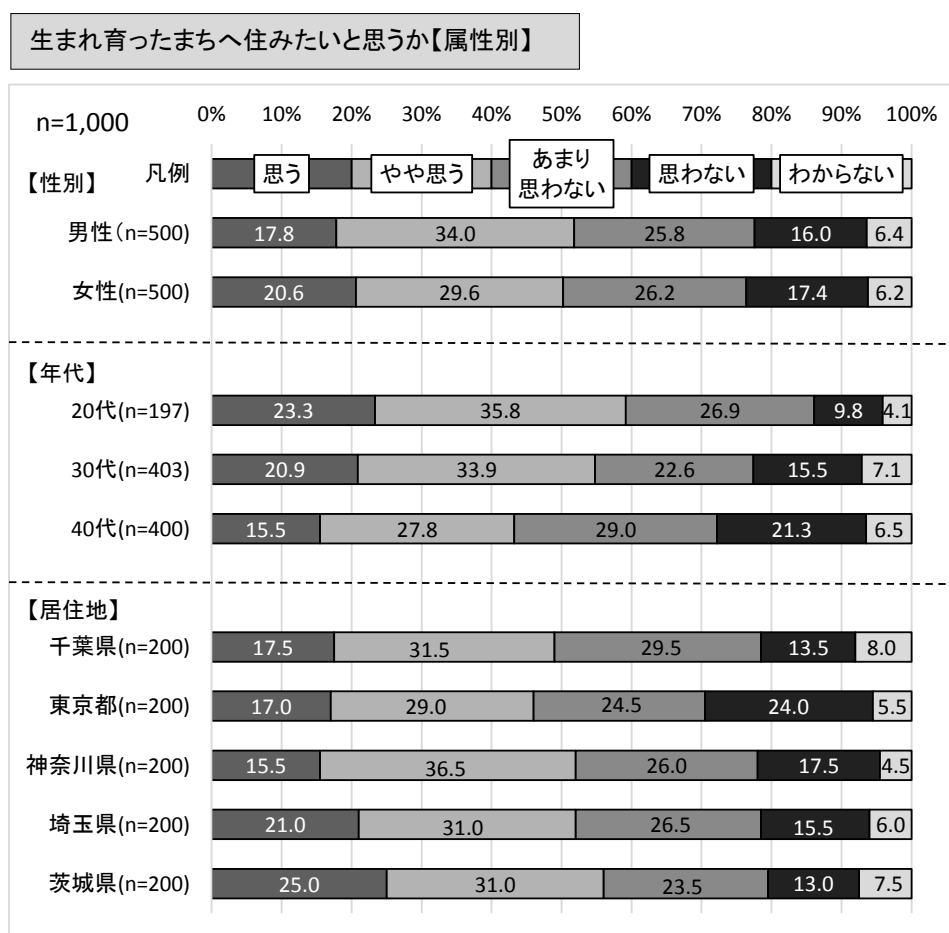
《属性別》

性別でみると、「思う（思う＋やや思う）」の比率は、男性（51.8%）が女性（50.2%）よりもやや高くなった。

年代別では、「思う（思う＋やや思う）」の比率は、20代（59.1%）が最も高く、30代（54.8%）、40代（43.3%）と年代が上がるにつれて低くなる傾向がみられた。

居住地別では、「思う（思う＋やや思う）」の比率は、すべての都県で半数前後となった。なかでも、茨城県では「思う」（25.0%）の比率が他都県と比べて、東京都では「思わない」（24.0%）の比率が他県と比べて高くなった。

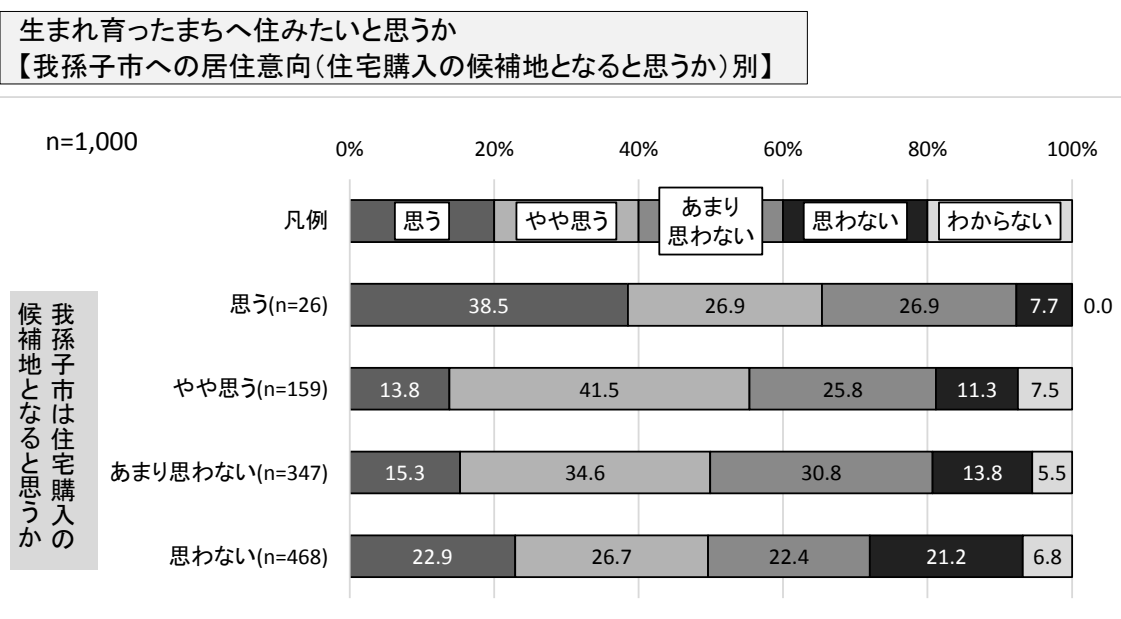
図表 15



《我孫子市への居住意向別》

我孫子市への居住意向（我孫子市は住宅購入の候補地となると思うか）別にみると、我孫子市は住宅購入の候補地となると「思う（思う+やや思う）」と回答した人は、生まれ育ったまちへ住みたいと「思う（思う+やや思う）」と回答した比率が高くなっている。

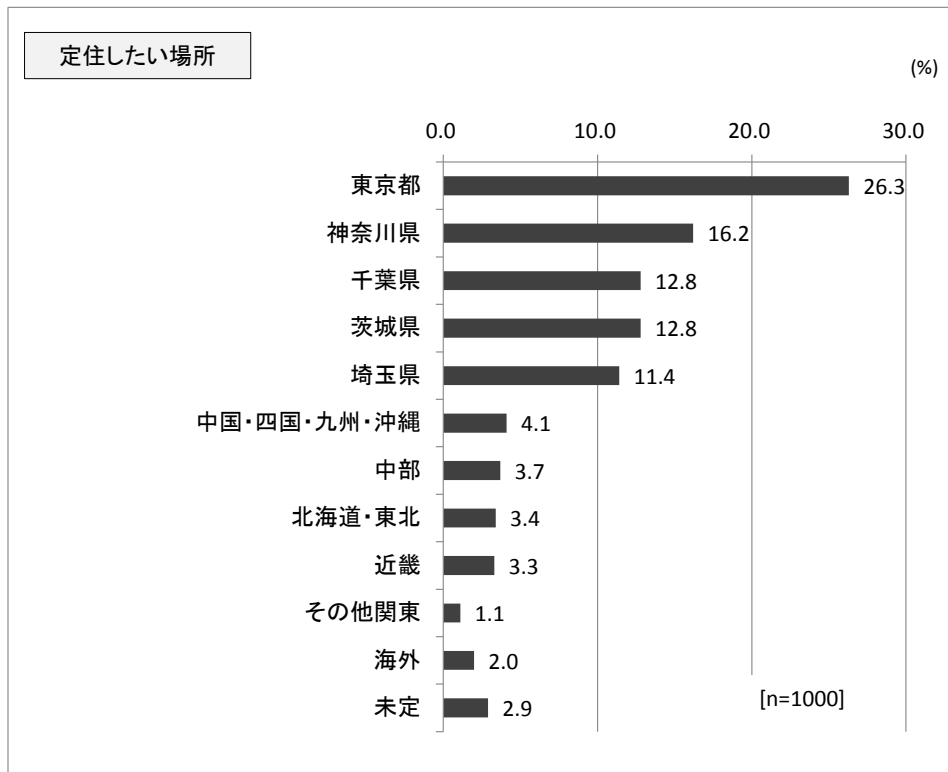
図表 16



(3) 定住したい場所

定住したい場所は、「東京都」が 26.3%と最も高く、以下「神奈川県」(16.2%)、「千葉県」「茨城県」(12.8%) などとなっている。

図表 17



《属性別》

性別でみると、男女ともに「東京都」の比率が最も高く、次いで「神奈川県」となった。

年代別にみると、すべての年代で「東京都」の比率が最も高く、次いで20代では「千葉県」、30代と40代では「神奈川県」の比率が高くなった。

居住地別にみると、現在居住している場所への定住意向が高い傾向がみられた。現在居住している場所への定住意向では、「東京都」(69.5%)と「神奈川県」(62.5%)、「茨城県」(60.5%)が6割強を占めているが、「千葉県」(55.0%)と「埼玉県」(52.0%)では半数程度にとどまった。

図表 18

定住したい場所【属性別】		東京都	神奈川県	千葉県	茨城県	埼玉県	中国・四国・九州・沖縄	中部	北海道・東北	近畿	その他関東	海外	未定
全体(n=1000)		26.3	16.2	12.9	12.8	11.3	4.1	3.7	3.4	3.3	1.1	2.0	2.9
性	男性(n=500)	25.6	17.0	11.6	13.4	10.6	4.4	4.0	4.2	4.4	0.4	1.4	3.0
	女性(n=500)	27.0	15.4	14.2	12.2	12.0	3.8	3.4	2.6	2.2	1.8	2.6	2.8
年代	20代(n=197)	28.5	13.5	14.0	11.9	13.5	2.6	2.1	4.1	4.1	1.6	2.1	2.1
	30代(n=403)	21.9	18.4	14.0	14.0	11.5	4.9	3.9	2.5	2.7	1.2	1.5	3.4
	40代(n=400)	29.8	15.3	11.3	12.0	10.0	4.0	4.3	4.0	3.5	0.8	2.5	2.8
居住地	千葉県(n=200)	16.5	3.0	55.0	1.5	1.0	4.5	2.0	4.0	5.5	0.5	2.5	4.0
	東京都(n=200)	69.5	7.0	1.5	0.5	1.0	4.5	4.0	4.0	2.5	0.0	3.0	2.5
	神奈川県(n=200)	13.5	62.5	2.0	1.0	0.0	4.5	3.5	4.0	3.5	0.0	1.5	4.0
	埼玉県(n=200)	20.5	5.0	3.0	0.5	52.0	3.0	4.5	2.0	3.5	2.5	1.5	2.0
	茨城県(n=200)	11.5	3.5	3.0	60.5	2.5	4.0	4.5	3.0	1.5	2.5	1.5	2.0

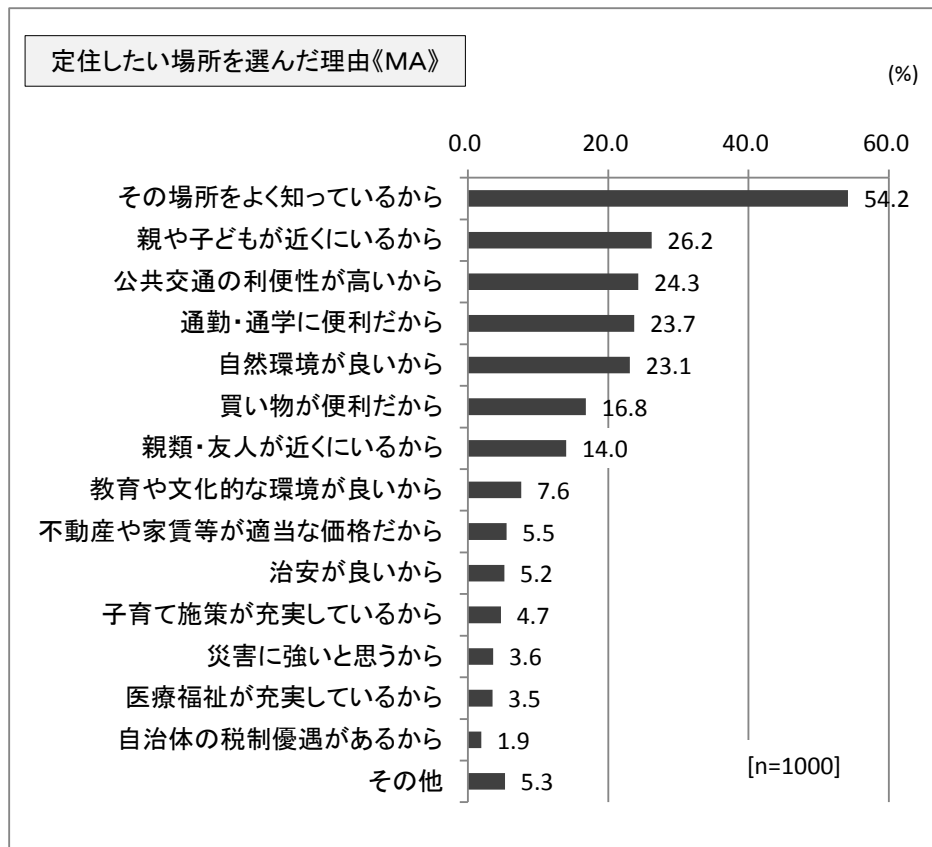
(注)シャドー部分:全体平均より高いもの

(4) 定住したい場所を選んだ理由

定住したい場所を選んだ理由をみると、「その場所をよく知っているから」が54.2%と最も高く、以下「親や子どもが近くにいるから」(26.2%)、「公共交通の利便性が高いから」(24.3%) などとなっている。

一方、「子育て施策が充実しているから」、「災害に強いと思うから」、「医療福祉が充実しているから」、「自治体の税制優遇があるから」などは低くなっている。

図表 19



《属性別》

各属性別でみると、「その場所をよく知っているから」の比率が高いのは、性別では男性、年代別では20代と30代、居住地別では東京都と神奈川県となっている。

「親や子どもが近くにいるから」の比率が高いのは、性別では女性、年代別では20代と30代、居住地別では千葉県と茨城県となっている。

「公共交通の利便性が高いから」の比率が高いのは、性別では女性、年代別では30代、居住地別では東京都と埼玉県となっている。

「通勤・通学に便利だから」の比率が高いのは、性別では男性、年代別では30代、居住地別では埼玉県と東京都となっている。

属性別に傾向がみられるものとして、年代別では「自然環境が良いから」が40代、「買い物が便利だから」が20代で他の年代に比べて比率が高くなっている。

図表 20

定住したい場所を選んだ理由《MA》【属性別】																(%)
		からその場所をよく知っている	ら親や子どもが近くにいるか	ら公共交通の利便性が高いか	通勤・通学に便利だから	自然環境が良いから	買い物が便利だから	ら親類・友人が近くにいるか	から教育や文化的な環境が良い	格だから不動産や家賃等が適当な価	治安が良いから	から子育て施策が充実している	災害に強いと思うから	ら医療福祉が充実しているか	ら自治体の税制優遇があるか	
全体(n=1000)		54.2	26.2	24.3	23.7	23.1	16.8	14.0	7.6	5.5	5.2	4.7	3.6	3.5	1.9	
性	男性(n=500)	56.0	20.6	23.8	24.6	24.6	16.2	11.4	8.0	6.0	3.8	2.8	4.6	3.0	1.8	
	女性(n=500)	52.4	31.8	24.8	22.8	21.6	17.4	16.6	7.2	5.0	6.6	6.6	2.6	4.0	2.0	
年代	20代(n=197)	58.5	27.5	23.8	22.3	15.0	20.2	16.6	7.8	5.2	9.3	6.7	2.6	1.6	2.1	
	30代(n=403)	54.5	29.2	26.8	24.6	20.4	15.2	16.2	5.7	5.9	2.9	5.7	2.9	3.7	2.5	
	40代(n=400)	51.8	22.5	22.0	23.5	29.8	16.8	10.5	9.5	5.3	5.5	2.8	4.8	4.3	1.3	
居住地	千葉県(n=200)	53.5	31.0	22.0	24.5	24.0	18.5	13.0	4.0	9.5	4.5	3.5	3.5	2.0	2.0	
	東京都(n=200)	57.5	20.5	27.5	25.5	23.0	19.0	11.5	10.0	6.5	5.5	5.0	3.5	2.5	2.5	
	神奈川県(n=200)	56.5	22.0	23.5	19.0	26.0	15.0	12.5	8.0	4.5	7.5	3.5	1.0	3.5	1.5	
	埼玉県(n=200)	51.5	26.0	27.0	27.0	20.5	16.0	15.0	7.0	3.0	3.0	6.0	5.0	3.5	2.0	
	茨城県(n=200)	52.0	31.5	21.5	22.5	22.0	15.5	18.0	9.0	4.0	5.5	5.5	5.0	6.0	1.5	

(注)シャドー部分:全体平均より高いもの

《世帯別》

定住したい場所を選んだ理由の上位7項目について世帯別にみると、「その場所をよく知っているから」の比率が高いのは、「自分と親」、「夫婦（自分）と子ども（未婚・既婚含む）」の二世帯の世帯となっている。

「親や子どもが近くにいるから」で比率が高いのは、「三世帯」、「夫婦のみ」、「夫婦（自分）と子ども（未婚・既婚含む）」となっている。

「公共交通の利便性が高いから」、「通勤・通学に便利だから」は世帯別で大きな差はみられない。

図表 21

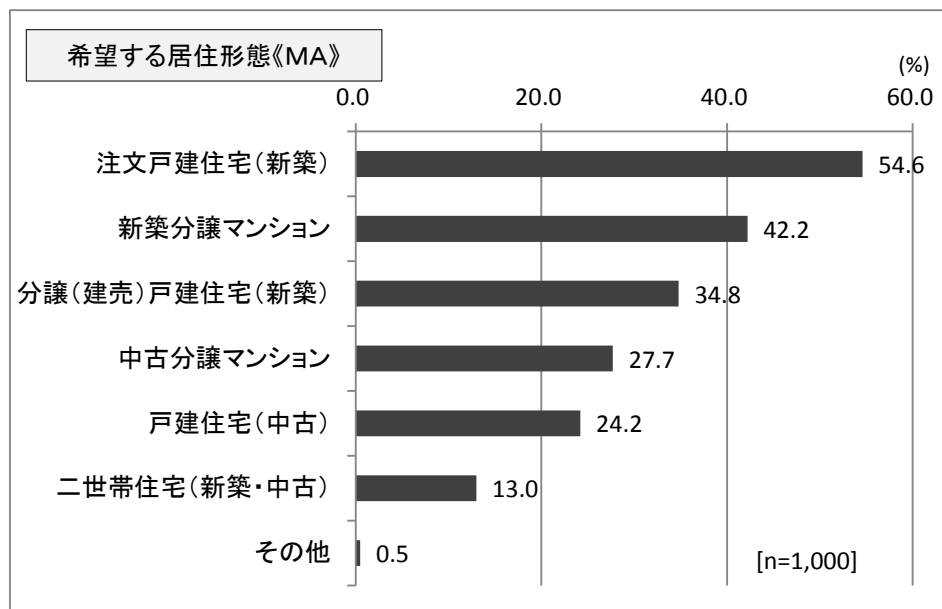
定住したい場所を選んだ理由の上位7項目《MA》【世帯別】		か そ の 場 所 を よ く 知 っ て い る	ら 親 や 子 ど も が 近 く に い る か	ら 公 共 交 通 の 利 便 性 が 高 い か	通 勤 ・ 通 学 に 便 利 だ か ら	自 然 環 境 が 良 い か ら	買 い 物 が 便 利 だ か ら	ら 親 類 ・ 友 人 が 近 く に い る か
全体(n=1000)		54.2	26.2	24.3	23.7	23.1	16.8	14.0
世帯別 (その他除く)	一人暮らし(n=186)	50.5	15.1	25.3	21.0	27.4	17.7	11.3
	夫婦のみ(n=233)	52.8	30.0	24.5	24.5	23.6	13.7	15.0
	夫婦(自分)と子ども (未婚・既婚含む)(n=375)	56.0	29.6	22.7	23.5	22.4	14.4	17.9
	自分と親(n=138)	58.0	20.3	26.1	25.4	17.4	23.9	8.0
	三世帯(n=44)	50.0	40.9	25.0	34.1	27.3	20.5	4.5

(注)シャドー部分:全体平均より高いもの

(5) 希望する居住形態について

希望する居住形態は、「注文戸建住宅（新築）」が 54.6%と最も高く、以下「新築分譲マンション」（42.2%）、「分譲（建売）戸建住宅（新築）」（34.8%）などとなっている。

図表 22



《属性別》

性別でみると、男女ともに「注文戸建住宅（新築）」と回答した比率が最も高く、なかでも男性は「戸建住宅」に関する比率が高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「注文戸建住宅（新築）」が最も高く、20代と30代では6割弱を占めている。20代と30代では「新築」物件に関する比率が高く、40代では「中古」物件に関する比率が他の年代と比べて高くなっている。

居住地別では、東京都を除いたすべての県で「注文戸建住宅（新築）」と回答した比率が最も高く、特に茨城県（72.5%）は突出しており、7割強を占めている。東京都では、「新築分譲マンション」（56.0%）や「中古分譲マンション」（41.5%）と回答した比率が高くなっている。

図表 23

希望する居住形態《MA》【属性別】		（%）					
		注文戸建住宅（新築）	新築分譲マンション	分譲戸建住宅（新築）	中古分譲マンション	戸建住宅（中古）	二世帯住宅（新築・中古）
全体(n=1000)		54.6	42.2	34.8	27.7	24.2	13.0
性	男性(n=500)	57.2	40.4	35.2	26.2	26.2	14.4
	女性(n=500)	52.0	44.0	34.4	29.2	22.2	11.6
年代	20代(n=197)	57.5	45.6	43.5	23.8	22.8	13.0
	30代(n=403)	59.2	40.3	35.4	23.6	22.6	14.5
	40代(n=400)	48.5	42.5	30.0	33.8	26.5	11.5
居住地	千葉県(n=200)	50.0	44.5	31.0	27.0	26.5	13.5
	東京都(n=200)	44.5	56.0	38.0	41.5	26.5	11.0
	神奈川県(n=200)	50.5	45.5	40.0	29.0	23.5	13.5
	埼玉県(n=200)	55.5	38.5	38.5	24.0	19.5	14.0
	茨城県(n=200)	72.5	26.5	26.5	17.0	25.0	13.0

(注)シャドー部分：全体平均より高いもの

《我孫子市への居留意向別》

我孫子市への居留意向（我孫子市は住宅購入の候補地となると思うか）別にみると、我孫子市は住宅購入の候補地となると「思う（思う+やや思う）」と回答した人は、「注文戸建住宅（新築）」や「分譲戸建住宅（新築）」、「戸建住宅（中古）」などの「戸建住宅」で比率が高くなっている。

一方、我孫子市は住宅購入の候補地となると「あまり思わない」と回答した人は「新築分譲マンション」や「中古分譲マンション」で比率が高くなっている。

図表 24

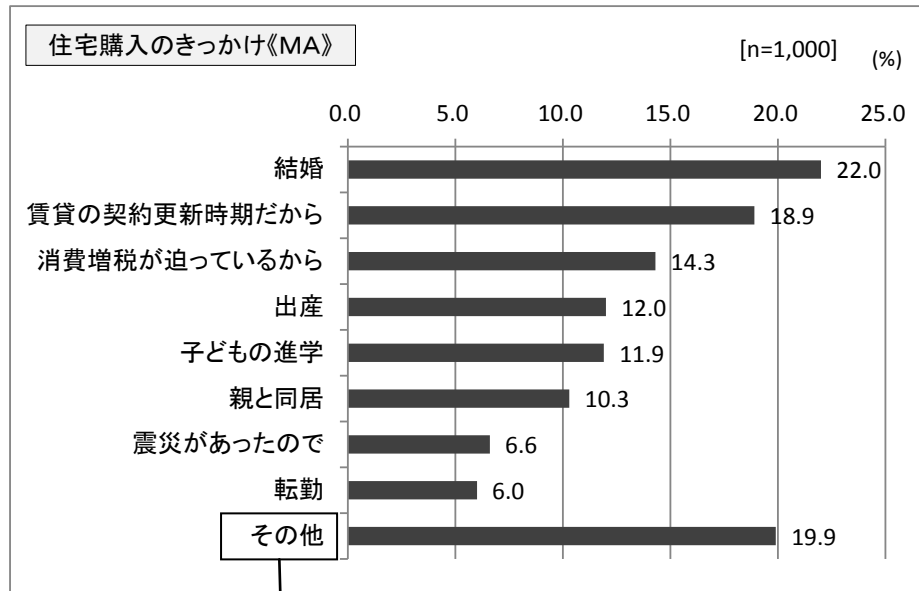
希望する居住形態《MA》【我孫子市への居留意向別】		(%)					
		注文戸建住宅 (新築)	分譲戸建住宅 (新築)	戸建住宅 (中古)	二世帯住宅 (新築・中古)	新築分譲 マンション	中古分譲 マンション
全体(n=1000)		54.6	34.8	24.2	13.0	42.2	27.7
居住意向の候補地となは ると思うか)別	思う(n=26)	69.2	38.5	42.3	15.4	34.6	19.2
	やや思う(n=159)	55.3	37.7	25.2	20.1	40.9	27.0
	あまり思わない(n=347)	56.2	36.3	28.0	11.8	45.5	28.8
	思わない(n=468)	52.4	32.5	20.1	11.3	40.6	27.6

(注)シャドー部分:全体平均より高いもの

(6) 住宅購入を検討することになったきっかけ

住宅購入を検討することになったきっかけは、「結婚」が22.0%と最も高く、以下「賃貸の契約更新時期だから」(18.9%)、「消費増税が迫っているから」(14.3%)などとなっている。

図表 25



主な意見	件数
特に理由はない	53
家賃が高い、家が古い・狭い	25
将来に備えて	18
マイホームがほしい	16
親や家族の関係	12
年齢を考えて	11
通勤・通学の関係	9
資金がたまった	7

《属性別》

各属性別でみると、「結婚」と回答した比率は、性別では女性、年代別では20代、居住地別では茨城県が高くなっている。

「賃貸の契約更新時期だから」と回答した比率は、性別では男性、年代別では40代、居住地別では東京都が高くなっている。

「消費増税が迫っているから」と回答した比率は、性別では男性、年代では30代、居住地では東京都と千葉県が高くなっている。

属性別に傾向がみられるものとして、「出産」と回答した比率は、性別では女性、年代別では20代で高くなっている。

図表 26

住宅購入のきっかけ《MA》【属性別】		(%)							
		結 婚	賃 貸 の 契 約 更 新 時 期 だ か ら	消 費 増 税 が 迫 っ て い る か ら	出 産	子 ど も の 進 学	親 と 同 居	震 災 が あ っ た の で	転 勤
全体(n=1000)		22.0	18.9	14.3	12.0	11.9	10.3	6.6	6.0
性	男性(n=500)	21.0	20.6	14.6	7.8	11.4	11.8	7.0	6.4
	女性(n=500)	23.0	17.2	14.0	16.2	12.4	8.8	6.2	5.6
年代	20代(n=197)	33.7	14.5	15.5	20.2	8.3	13.0	6.2	6.2
	30代(n=403)	26.3	17.9	17.2	16.0	13.5	8.8	5.2	5.2
	40代(n=400)	12.0	22.0	10.8	4.0	12.0	10.5	8.3	6.8
居住地	千葉県(n=200)	18.5	18.5	16.0	10.5	11.0	9.0	5.5	4.5
	東京都(n=200)	20.0	23.5	16.5	11.5	12.0	6.0	4.0	7.5
	神奈川県(n=200)	22.5	19.5	12.5	12.5	9.0	11.5	5.0	7.0
	埼玉県(n=200)	22.5	17.0	13.0	12.5	14.5	13.0	7.0	5.5
	茨城県(n=200)	26.5	16.0	13.5	13.0	13.0	12.0	11.5	5.5

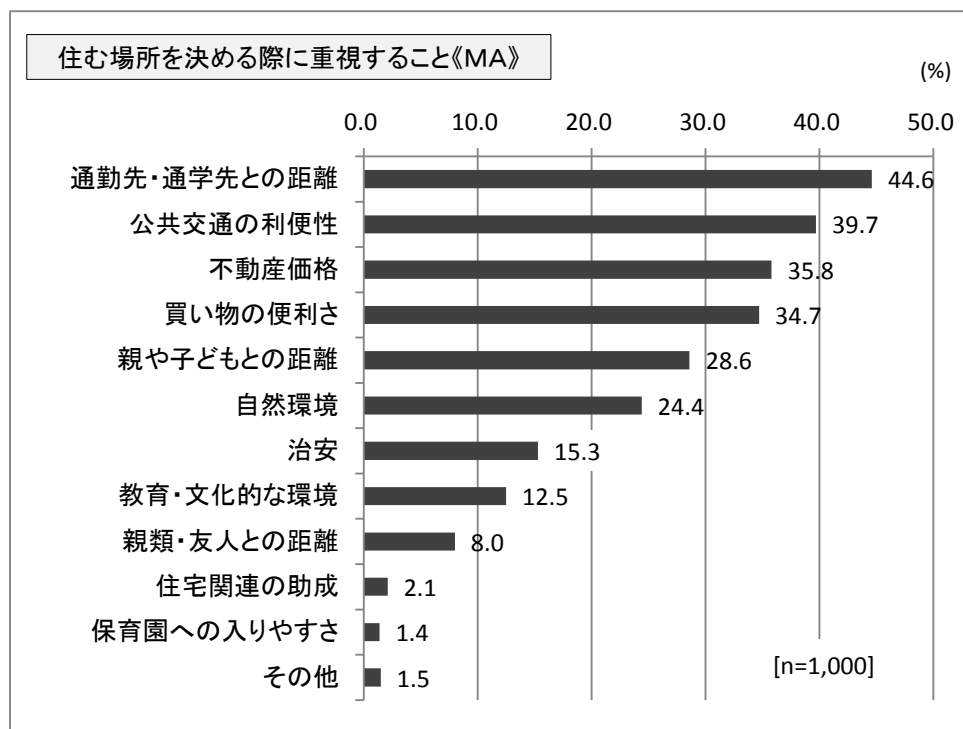
(注)シャドー部分:全体平均より高いもの

(7) 住む場所を決める際に重視すること

住む場所を決める際に重視することは、「通勤先・通学先との距離」が44.6%と最も高く、以下「公共交通の利便性」(39.7%)、「不動産価格」(35.8%)などとなっている。

一方、「住宅関連の助成」(2.1%)や「保育園への入りやすさ」(1.4%)の比率は低くなっている。

図表 27



《属性別》

各属性別でみると、「通勤先・通学先との距離」と回答した比率は、性別では差が見られず、年代では30代、居住地別では千葉県が高くなっている。

「公共交通の利便性」と回答した比率は、性別では女性、年代別では30代、居住地では東京都と埼玉県で高くなっている。

「不動産価格」と回答した比率は、性別では男性、年代では40代、居住地別で神奈川県と東京都が高くなっている。

属性別に傾向がみられるものとして、性別では、「買い物の便利さ」や「親や子どもとの距離」と回答した比率は、女性が男性を10ポイント以上上回っている。

年代別では、「買い物の便利さ」(41.3%)、「自然環境」(30.8%)と回答した比率は40代で、「親や子どもとの距離」と回答した比率は30代(32.7%)と20代(31.6%)で高くなっている。

居住地別では、「買い物の便利さ」と回答した比率は千葉県(40.0%)、「親や子どもとの距離」と回答した比率は茨城県(34.5%)で高くなっており、それぞれ東京都に比べて10ポイント以上高くなっている。

図表 28

住む場所を決める際に重視すること《MA》【属性別】		(%)											
		通勤先・通学先との距離	公共交通の利便性	不動産価格	買い物の便利さ	親や子どもとの距離	自然環境	治安	教育・文化的な環境	親類・友人との距離	住宅関連の助成	その他	保育園への入りやすさ
全体(n=1000)		44.6	39.7	35.8	34.7	28.6	24.4	15.3	12.5	8.0	2.1	1.5	1.4
性	男性(n=500)	44.6	38.0	38.8	28.6	23.0	25.8	16.2	10.4	6.2	3.0	1.6	1.8
	女性(n=500)	44.6	41.4	32.8	40.8	34.2	23.0	14.4	14.6	9.8	1.2	1.4	1.0
年代	20代(n=197)	44.6	35.8	30.6	34.7	31.6	19.2	15.0	12.4	8.8	4.1	1.6	2.6
	30代(n=403)	46.7	43.7	35.1	28.3	32.7	20.6	15.2	11.3	9.3	1.2	1.0	1.7
	40代(n=400)	42.5	37.5	39.0	41.3	23.0	30.8	15.5	13.8	6.3	2.0	2.0	0.5
居住地	千葉県(n=200)	51.5	40.5	34.0	40.0	28.5	25.0	16.5	8.5	7.0	0.5	1.0	2.0
	東京都(n=200)	46.0	48.0	39.0	28.0	22.0	23.5	16.0	11.5	7.0	5.0	1.5	1.0
	神奈川県(n=200)	44.0	36.5	41.0	34.0	28.0	25.0	17.5	14.0	9.5	0.5	1.5	1.5
	埼玉県(n=200)	39.5	43.5	28.5	37.0	30.0	21.0	14.5	15.0	8.0	2.5	0.5	1.5
	茨城県(n=200)	42.0	30.0	36.5	34.5	34.5	27.5	12.0	13.5	8.5	2.0	3.0	1.0

(注)シャドー部分:全体平均より高いもの

《我孫子市への居注意向別》

住む場所を決める際に重視する点の上位 7 項目について、我孫子市への居注意向（我孫子市は住宅購入の候補地となると思うか）別にみると、我孫子市は住宅購入の候補地となると「思う（思う+やや思う）」と回答した人は、「思わない（思わない+あまり思わない）」と回答した人に比べて、「親や子どもとの距離」と回答した比率が高くなっている。

一方、我孫子市は住宅購入の候補地となると「思わない（あまり思わない+思わない）」と回答した人は、「思う（思う+やや思う）」と回答した人に比べて、「公共交通の利便性」や「買い物の便利さ」と回答した比率が高くなっている。

図表 29

住む場所を決める際に重視する点の上位7項目《MA》 【我孫子市への居注意向別】		(%)						
		通勤先・通学先との距離	公共交通の利便性	不動産価格	買い物の便利さ	親や子どもとの距離	自然環境	治安
全体(n=1000)		44.6	39.7	35.8	34.7	28.6	24.4	15.3
居注意向別	思う(n=26)	42.3	23.1	30.8	19.2	34.6	34.6	7.7
	やや思う(n=159)	47.8	30.2	35.2	28.3	33.3	23.3	14.5
	あまり思わない(n=347)	42.4	40.9	37.8	35.7	25.1	30.0	15.0
	思わない(n=468)	45.3	42.9	34.8	37.0	29.3	20.1	16.2

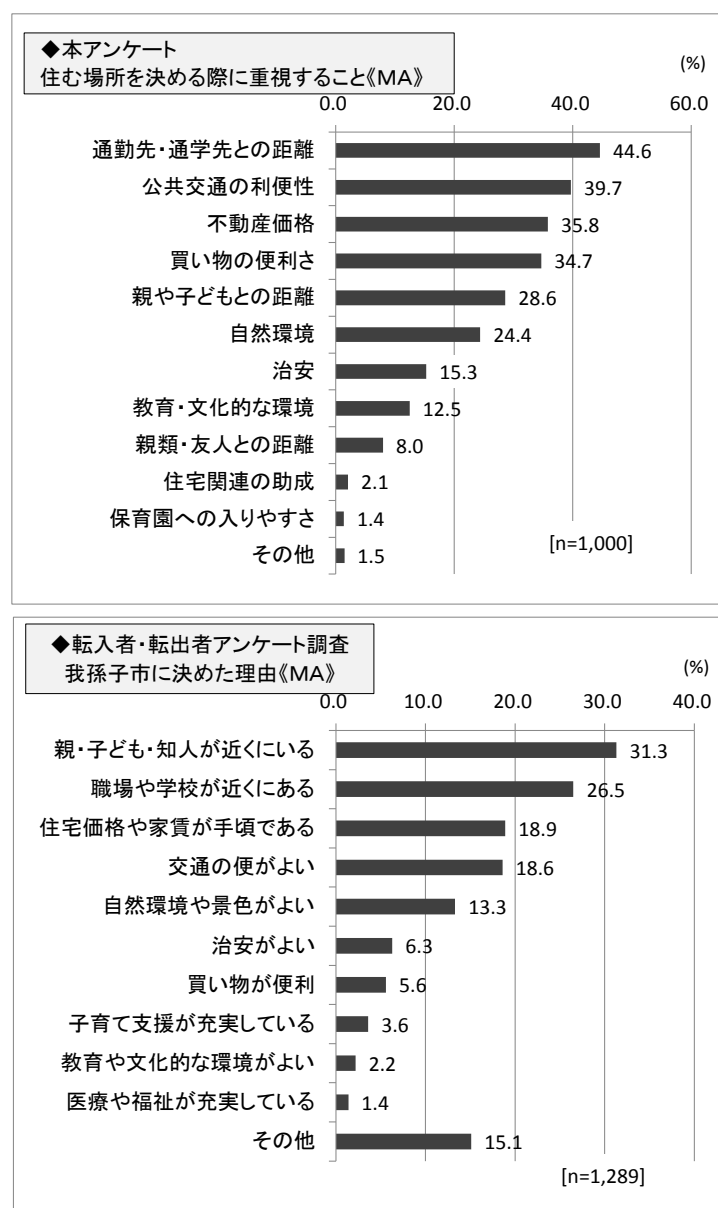
(注)シャド一部分:全体平均より高いもの

《転入者・転出者アンケート調査との比較》

住む場所を決める際に重視する点について、転入者・転出者アンケート調査の結果と比較すると、どちらのアンケートでも、「通勤先・通学先との距離（職場や学校が近くにある）」と「不動産価格（住宅価格や家賃が手頃である）」は上位を占めている。

差がみられるものとして、転入者・転出者アンケート調査の結果では「親・子ども・知人がいる」（31.3%）が最も高くなっているが、本アンケートでの「親や子どもとの距離」（28.6%）は第5位となっている。

図表 30



※転入者・転出者アンケート調査（平成24年11月～平成25年4月 6か月分）

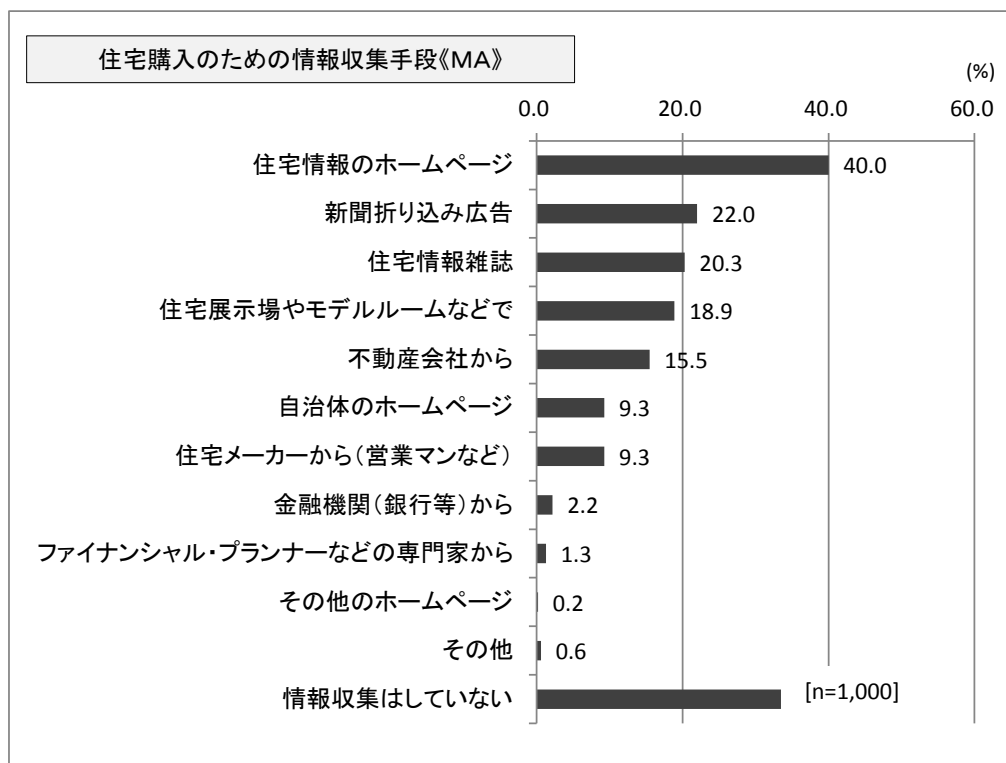
有効回答：転入者1,289人、転出者1,330人

「我孫子市に決めた理由」は転入者のみ回答

(8) 住宅購入のための情報収集手段

住宅購入のための情報収集手段は、「住宅情報のホームページ」が40.0%と最も高く、以下「新聞折り込み広告」(22.0%)、「住宅情報雑誌」(20.3%) などとなっている。

図表 31



《属性別》

各属性別でみると、「住宅情報のホームページ」の比率が高いのは、性別では男性、年代別では40代、居住地別では東京都となっている。

「新聞折り込み広告」の比率が高いのは、性別では女性、年代別では40代、居住地別では埼玉県と千葉県となっている。

「住宅情報雑誌」では、性別では差はほとんどみられず、年代別では40代、居住地別では神奈川県で比率が高くなっている。

属性別に傾向がみられるものとして、「住宅展示場やモデルルームなどで」は、年代別では30代、居住地別では茨城県が高くなっている。

図表 32

住宅購入のための情報収集手段《MA》【属性別】		(%)								
		住宅情報のホームページ	新聞折り込み広告	住宅情報雑誌	住宅展示場やモデルルームなどで	不動産会社から	自治体のホームページ	（営業メーカーから）	金融機関（銀行等）から	ファイナンシャル・プランナーなどの専門家から
全体(n=1000)		40.0	22.0	20.3	18.9	15.5	9.3	9.3	2.2	1.3
性	男性(n=500)	40.6	20.4	20.2	18.8	15.0	10.2	8.6	3.0	1.6
	女性(n=500)	39.4	23.6	20.4	19.0	16.0	8.4	10.0	1.4	1.0
年代	20代(n=197)	35.8	18.7	16.6	17.1	14.0	15.5	10.4	3.1	1.6
	30代(n=403)	40.0	20.4	20.9	22.4	15.7	8.4	9.6	1.7	1.2
	40代(n=400)	42.0	25.3	21.5	16.3	16.0	7.3	8.5	2.3	1.3
居住地	千葉県(n=200)	37.0	25.5	18.0	16.5	14.5	9.5	6.0	3.0	1.5
	東京都(n=200)	43.0	19.5	21.0	13.0	18.5	10.0	9.0	2.0	1.5
	神奈川県(n=200)	40.5	19.0	22.5	17.0	15.5	9.0	7.0	1.5	1.5
	埼玉県(n=200)	40.0	26.5	18.5	20.0	15.0	9.0	11.0	0.5	0.5
	茨城県(n=200)	39.5	19.5	21.5	28.0	14.0	9.0	13.5	4.0	1.5

(注)シャド一部分：全体平均より高いもの